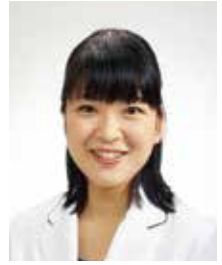


ドクター + 教えて

えきかたかんしょう 腋窩多汗症について

磐田市立総合病院 皮膚科部長 坂本 慶子



汗は体温を下げる働きを持ち、体温調節において重要な役割を担っています。一方、日常生活に支障を来すほどの多量の汗が出てしまう「多汗症」という病気があります。

脇の下（腋窩）は体の中で特に汗腺の数が多く、緊張やストレスなどの精神的な刺激と、気候や運動による温熱刺激の両方で発汗が促進されるため、汗を多くかきやすい部位です。腋窩多汗症は脇の汗の病気です。この病気は社会的にあまり知られていないため、病気と認識されず一人で悩んでいる患者さんも多いと言われています。当科にも「脇に汗じみができて人目が気になり、仕事に集中できない」「1日に何度も制汗剤を使ったりシャツを着替えたりする」などの悩みで受診される患者さんがいます。

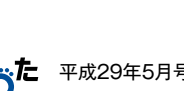
内科的な病気や薬の副作用などの原因が無く、脇に多量の汗をかく病気が原発性腋窩多汗症です。症状が6カ月以上続いている方で、さらに以下の①から⑥のうち2項目以上に当てはまる方は、原発性腋窩多汗症の可能性があります。①両脇とも同じくらいの汗をかく②日常生活に支障を感じる③週に1回以上、脇に多量の汗をかく④症状は25歳より以前に始まった⑤同じように脇に多量の汗をかく家族がいる⑥寝ているときは脇の汗がひどくない

外用薬や内服薬、重症例では注射薬での治療が主に行われ、症状が改善する患者さんもいらっしゃいます。脇の汗で悩んでいる方は、ぜひ一度皮膚科で相談してみることをお勧めします。

食べる力を応援します

磐田市立総合病院
摂食・嚥下障害看護認定看護師
和田 裕之

嚥下障害とは、食べることに、飲みこむことの障害です。食べることはただ単に栄養を取ることだけが目的ではなく、私たちの人生にとって大きな意味を持ちます。大好物を食べたときに感じる幸せは何にも代え難いものです。また、家族や友人とコミュニケーションを取りながら食べる食事は格別です。しかし、脳卒中や神経筋疾患、サルコペニア（飲みこむ筋力の低下）などによって嚥下障害となり食べることが困難になります。また、嚥下障害があると本来は、食道へ運ばれるべき食物が誤って肺の方に運ばれ、誤嚥性肺炎を起こしてしまいます。現在の疾患別死因の第3位は肺炎です。そのほとんどが誤嚥性肺炎だと言われています。また、誤嚥性肺炎の割合は高齢になるに連れて増えています。今後、高齢化が進むことで、嚥下障害を持ち、誤嚥性肺炎になってしまう方が増加することが予測されます。



くらしの 情報